

令和5年度 第1学年 2学期中間テスト出題範囲表

日時	教科	範囲	学習のポイント	その他の連絡 (提出物など)
9月28日(木)	1校時	英語 教科書 Unit4~Unit5 Part1 (P38~49)が中心だが、一学期の内容も復習しておくこと ワーク ~P57 一般動詞40	<input type="checkbox"/> 疑問詞(What, When, Where...)などのまとめ <input type="checkbox"/> 前置詞(on, in, under, by, around...)などの使いかた。物の位置の答え方 <input type="checkbox"/> 一般動詞40の書き取り <input type="checkbox"/> 一般動詞、be動詞の使い分け(Do you~?なのか Are you~なのか) *選択問題が多めではありますが、一般動詞40は書くことができるようにしておきましょう。 *すらすらと見なくても言えるぐらい教科書やワークの英文を音読して、そのあと書く練習をすると英語がどんどん頭に入っていきます。	テスト当日に提出物はありません。
	2校時	数学 教科書P62~P93 ワークP26~P45	<input type="checkbox"/> いろいろな数量を文字式、等式、不等式で表すことができる。また、文字式、等式、不等式の表す数量が説明できる。 <input type="checkbox"/> 文字に数を代入し、式の値を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 文字式の計算ができる。 <input type="checkbox"/> 等式の性質を使って、方程式が解ける。 <input type="checkbox"/> ワークや教科書で間違えた問題や教科書の章末問題等を自学ノートに書くなど、効果的に自学ノートを活用しましょう。	テスト当日にワークと自学ノートを提出。 ※自学ノートの取り組み方を年度初めに配ったプリントで確認しておくこと。
	3校時	国語 教科書p60~p79 P96~p105 ワークp41~67 漢字スキルp19~26	<input type="checkbox"/> 「問い」に対する「答え方」をよく確認する。(これまでのテストの反省を生かして) <input type="checkbox"/> ワークの問題は自分でくりかえし解いて、○付けや直しもていにする。解説もよく読んで、答えの理由も理解しておく。 <input type="checkbox"/> 1学期末テスト後の学習内容を復習しよう。 <input type="checkbox"/> 教科書・ノートやプリントをしっかりと見直す。	・漢字スキルは、テスト前に点検します。(各担当より指示が出ます) ・ワークはテストの日に提出(○付け、直しをして)
9月29日(金)	1校時	社会 【地理】 教科書 P18~21、26~45 ワーク P16~21のテスト範囲該当箇所、P22~37 【歴史】 教科書 P46~51 ワーク P16~17、18①	<input type="checkbox"/> 日本の領域や排他的経済水域について理解しておく。 <input type="checkbox"/> 排他的経済水域の面積を算出して、大小の比較ができる。 <input type="checkbox"/> 雨温図の読み取り、作成ができる。 <input type="checkbox"/> 5つの気候帯と高山気候、各気候区分の特徴を理解し、それに応じた各地域の暮らしを理解しておく。 <input type="checkbox"/> 世界の主な食べ物や宗教の分布を理解しておく。 <input type="checkbox"/> 聖徳太子の行った政治について理解する。 <input type="checkbox"/> 大化の改新、白村江の戦いの壬申の乱の原因、経緯、その後にもたらされた変化について理解する。	・ワークは、テスト前に提出すること。(提出日は各担当から指示します。)
	2校時	理科 教科書p140~p170 プリント 9、10、11 質量パーセント濃度の計算問題のプリント	<input type="checkbox"/> 気体の性質に合わせて集め方を考えることができる。 <input type="checkbox"/> 酸素、二酸化炭素、水素、アンモニアの発生方法と性質がわかる。 <input type="checkbox"/> 未知の気体について調べる方法を計画したり、実験の結果から気体の種類を考察したりすることができる。 <input type="checkbox"/> 物質のとけたときの様子を粒子モデルで説明できる。 <input type="checkbox"/> 水溶液の質量パーセント濃度を計算することができる。	・1学期の期末テストの化学の範囲も出題します。復習をしておきましょう。